










楽しかった「いきいき集会」



今朝の28日(木)の集会は、企画委員会が考えた遊びをみんなで楽しみました。今回は「おもちゃのチャチャチャ」の曲を使った遊びです。1・3・5年生が「『チャ』チーム」、2・4・6年生が「『チャ以外』のチーム」に分かれて、「おもちゃのチャチャチャ」を歌ったりしゃがんだりする遊びです。「チャ」チームは「おもちゃのチャチャチャ」の歌詞で「チャ」がきたら歌ってしゃがみます。「チャ以外」のチームは、チャ以外のときに歌ってしゃがみます。企画委員会のお手本は完璧で、それを見てからみんなでやり、大いに盛り上がりました。始めは曲の速度を遅くして遊び、2回目は少し速くしながらみんなで歌ってしゃがみ、歓声が上がりにながらみんなが笑顔でした。また、動きが入るので汗をたくさんかいている子供たちもいました。



遊んだ後の子供たちの感想交流です。2年生の子供は「『帯西レッド』の心が伸びました。わけは、みんなで楽しくいろんなことができたからレッドの心が伸びました。」「みんなが楽しめていたので、ぼくも嬉しかったです。」と述べ、4年生の子供は「『帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、おもちゃのチャチャチャをみんなで踊れたのでグリーンの心が伸びました。」「みんながおもちゃのチャチャチャゲームを楽しんでくれたのでよかったです。」と述べ、6年生の子供は、「『帯西レッド』の心が伸びました。みんなが楽しくおもちゃのチャチャチャのゲームに取り組むことができたからです。」「私も楽しい遊びだと思いました。ぜひ教室でもやってほしいと思います。」と述べました。※は感想交流担当の企画委員会の言葉です

●ひこうきぐも✈ vol.23

ローマを後にし、傷心の私が次に選んだ国は、スペインでした。スペインは、旅行者にとって物価が安く(予定していたスイスは物価が高い)、どこか「情熱の国」という言葉に惹かれ、選んでしまいました。ここで苦勞したことと言えば、鉄道乗り放題の「ユーレイルパス」を盗まれたことで、一等列車に乗ることができなくなったばかりか、普通列車を乗り継ぎながら、座席に座ったまま夜を明かしたことです。



しかし、列車の中では車輦に同乗した人の中に、日本語が堪能なスペインの人がいて、たくさんのスペインに関する情報を得ることができました。また、周囲の人たちからは、日本人が乗っていると珍しがられ、日本人なら空手ができるだろうという間違った憶測のため、やったこともない「空手の型」を披露する羽目になりました。しかし、これが以外にうけ、ちゃっかりビールやワイン、それに食事をおごってもらうことになったのです。更に酔いが回り、「水を得た魚」=「酒を得た荒木」とばかり、空手の型はいつしか「酔拳の型」に変わり、みんなで肩を組みながら、歌まで一緒に歌い出したのです。まさに「災い転じて福」となり、ローマでの悲劇は多くの友達のおかげで、酔いが覚めるころにはすっかり忘れることができたのです。そして列車は、車内の喧騒をよそに、静かに今回のヨーロッパの旅の最終地、スペインに着いたのです。

※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木が旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。バックナンバーは昨年度からの累積です。